

令和5年度  
文部科学省大学改革推進等補助金  
大学・大学院及び附属病院における人材養成機能強化事業  
(基礎研究医養成活性化プログラム)

「医歯工法連携による次代の法医学者及び地域関連人材の養成」

コースのご案内

当プログラムでは 児童虐待、薬物中毒及び未知の感染症など現代社会が遭遇する多くの課題を法医学の立場から解決する、いわゆる「臨床法医学」にかかる人材育成を目指します。

教育プログラムは ① 医学、歯学、工学及び法学の専門家が結集  
② 共通のデータベースを作成、それらを活用し、  
より実践的に学ぶ事が出来る法医学専門プログラムとなっております。

<本科コース>

学位取得に加えて死体解剖資格・  
法医認定医・死体検案医の  
資格取得支援

「医歯臨床法医」認定



- ・法医学 基礎科目 習得
- ・法医学 先端研究科目
- ・生体鑑定 模擬実習
- ・新規データベースを活用し  
バーチャルにて公文書作成

コース修了後「医歯臨床法医」

<インテンシブコース>

※学費は無料です。

「臨床法医学専門員」認定

申請資格：現役の保健師等メディカルスタッフ、  
警察官、児童福祉司に法曹3者を含む  
臨床法医学の知識を業務上必要とする方。  
選考方法：書類・面接により選考いたします。



- ・法医学 基礎科目より4科目

コース修了後「臨床法医学専門員」



科捜研・児童相談所の監修による  
「生体・解剖鑑定データベース」を整備

各機関の事例を判例別に集約・整理

主な用途

- 教育用途：模擬演習や模擬鑑定書作成のため素材
- 研究用途：傾向分析や画像分析、機器開発等のためのデータ元
- 情報共有：現場の最新情報の収集による関係者間での情報共有

|      |                 |                             |
|------|-----------------|-----------------------------|
| 児童虐待 | 身体損傷—年齢、性別、部位等別 | <p>「児童虐待」<br/>身体損傷(部位別)</p> |
|      | 口腔衛生—           |                             |
|      | 精神状態—           |                             |
|      | 家庭環境—           |                             |
| 薬物中毒 | 身体損傷—           |                             |
|      | 精神状態—           |                             |
|      | 病歴・薬歴—          |                             |
|      | 生活環境(職業等)       |                             |

★ R2年度 文部科学省 先端研究基盤共用促進事業：採択済  
(コアファシリティ構築支援プログラム)  
データ共有プラットフォーム、設備共同利用体制の構築  
実施機関：金沢大学(金沢医科大学、石川県警察本部科捜研、他3機関)

将来 法医学者と地域  
(警察・児童相談所等)  
を繋ぐプラットフォーム  
としての運用を想定



HP : <https://gyakupuro.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

【お問い合わせ】

金沢大学医薬保健系事務部学生課

基礎研究医養成活性化プログラム担当 出村, 井田, 表

TEL : 076-265-2811, 2130, 2888

FAX : 076-234-4208

Email : [kisokenkyui@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:kisokenkyui@adm.kanazawa-u.ac.jp)

本科コース修了要件・履修方法：法医学基礎科目及び法医学先端研究科目 11 単位を含む 30 単位以上を履修し、先駆的臨床医学を実践し、論文の作成・発表を行い学位を修得すること。（標準修業年限：4 年（上限 8 年））

インテンシブコース修了要件・履修方法：WEB会議システム等を利用し、法医学基礎科目から演習・実習を含む下記 4 科目（5 単位）を受講し、試験に合格する。（履修期間：2 年（上限 4 年））

<基礎研究医養成活性化プログラム教育コース単位表>

|             | 科目名            | 科目概要   | 担当大学               | 授業形態  | 単位数 | 本科コース | インテンシブ     |
|-------------|----------------|--|--------------------|-------|-----|-------|------------|
| 【法医学基礎科目】   | 臨床統計学特論        | 児童虐待の対応にも数字を伴う科学的根拠が求められることがあり、その準備のためにも統計学の基礎を身につけてもらう。また、疫学や臨床研究に基づくエビデンスを理解するための方法論をも指導する。  | 金沢大学               | 講義    | 1   | ○     |            |
|             | 病理病態学          | 法医解剖と病理解剖の間には、病歴の把握や病理組織学的検索を要するなど共通する点が多い。実際の死亡症例から病態生理の基礎を理解し、疾患にまつわる公文書作成の手ほどきをする。  | 金沢大学               | 講義    | 1   | ○     |            |
|             | 歯科口腔外科学        | 歯科口腔領域の解剖、生理、機能を理解する。また、児童虐待の早期発見に関連する口腔所見の特徴や、法医学の分野における歯科領域情報の活用の実際について講義する。   | 金沢大学, 日本歯科大学       | 講義    | 1   | ○     | ○          |
|             | 未知の感染症         | 「代理ミュンヒハウゼン症候群（MSBP）」の症例をメインに、それを理解するための基礎知識として、感染症診療の考え方を非専門領域の方にもわかるように講義する。   | 金沢医科大学, 金沢大学       | 講義    | 1   | ○     | ○          |
|             | 法医学Ⅰ（法中毒学）     | 法医学の中の重要な一分野である法中毒学について講義する。特に、石川県における薬毒物検査の実際と分析装置など設備の紹介、具体的な対象や方法について、実務者が現状を踏まえて最新情報を解説する。   | 金沢大学               | 講義    | 1   | ○     | ○          |
|             | 虐待に関する法医学      | 虐待を法医学的観点から検証し、早期発見に結び付ける判断力を養うことを目指す。外傷に関する基本的な損傷論や、一般的な観察方法、先端観察技術について、医学的知識を背景に持たない受講者を念頭に講義する。   | 秋田大学, 金沢大学         | 講義    | 1   | ○     | ○          |
|             | 法医学（法医学関連法規）   | 法医学の総論から各論の基本的内容を、医学知識を持たない受講者を念頭にわかりやすく講義する。法医学の基礎的知識を踏まえて、現実の社会生活上の問題や刑事事件について、その合理的な解決のため法医学がどのような役割を果たしているかを紹介し、法学の関連性について入門的に平易に解説する。             | 金沢大学法科大学院          | 講義    | 1   | ○     | ○          |
|             | 法医病理学          | 法医病理学を大きなテーマとして、金沢大学・金沢医科大学・秋田大学により月に1回の持ち回りでカンファレンス形式講義が実施される。実際の事例を参考に、観察項目や要点を学び、実践的な対応力を身につけるべく演習を行う。  | 金沢大学, 秋田大学, 金沢医科大学 | 演習・実習 | 2   | ○     | ○          |
| 【法医学先端研究科目】 | ナノ技術による新死因論    | ナノ技術を用いた複数の研究課題を学び・議論することで、これらの技術を死因究明に応用し、挑戦的な新規研究課題を立案し取り組む姿勢を育む。  | 金沢大学               | 研究指導  | 2   | ○     | うち1つ<br>選択 |
|             | 小児虐待の臨床法医学研究   | 若年者の法医解剖事例を、実際の見学やカンファレンス形式等で詳細に検討し、これを参考に小児虐待に関する臨床法医学的研究課題への取り組みを指導する。   | 秋田大学               | 研究指導  | 2   | ○     |            |
|             | 死後画像診断CT       | 概論として死後画像CT（Ai：Autopsy Imaging）読影の基本とその意義について解説する。さらに石川県内におけるネットワークを通じたAi活用の実情、秋田大学内の剖検室に設置する専用機の運用状況や実際のデータを用いた観察のポイントや、本検索技術の利点と欠点を考慮した利活用法について指導する。 | 金沢医科大学, 金沢大学, 秋田大学 | 研究指導  | 2   | ○     |            |
|             | 生体鑑定模擬演習（児童虐待） | 児童虐待予防に関する現状と課題、現場応用に向けた客観的観察技術について、具体的な事例や先行研究をもとに秋田大学の専門家が指導する。金沢大学からは虐待に関連する小児医療の事例を、日本歯科大学から歯科法医学の観点で虐待の予防や早期発見につながる着眼点（身体所見）を学ばせる。                | 秋田大学, 日本歯科大学, 金沢大学 | 模擬演習  | 2   | ○     | うち1つ<br>選択 |
|             | 生体鑑定模擬演習（薬物中毒） | 薬物中毒をキーワードに、法中毒学の専門家が総論を教え、薬物による人体への影響やその治療法について臨床精神学、精神科医療の専門家が指導し、現場の経験や実際の事例を踏まえた課題解決型実習に参加させる。   | 金沢大学               | 模擬演習  | 2   | ○     |            |
|             | 生体鑑定模擬演習（感染症）  | 異状死体の法医学から、比較的件数が多い敗血症などを中心に感染症に関連する具体的な事例を通して、新型コロナウイルスなどの感染流行が招く事態や法医学的課題に関する解決法について検討させる。   | 金沢医科大学, 金沢大学       | 模擬演習  | 2   | ○     |            |
|             | 生体鑑定模擬演習（法医実務） | 児童相談所や東京都監察医務院、模擬刑事裁判の見学などを通して児童虐待対応、死因究明や刑事裁判との関連性を中心に医学と法の関わりについて学ばせ、法医関連実務について、将来のあり方などを考えさせる。  | 金沢大学, 金沢医科大学       | 模擬演習  | 2   | ○     |            |